

活動事例

産業界支援

結城紬研究試作品展示会の開催

支援先

結城紬産地

【支援内容】

11月16日～17日の紬ウィーク期間中、結城市民情報センター3階において結城紬に関する研究紹介及び当所の研究試作品、研修生作品等18点を紹介する展示会を開催しました。両日で470名の方に来場いただき、会場にて展示内容に関するアンケート調査を実施しました。

来場者アンケートでは今後の製品開発に参考となる意見や商品として期待していることなど一般の消費者から忌憚のないコメントが数多く寄せられました。

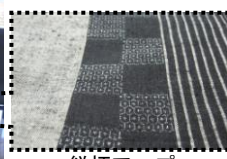
人気投票 No. 1 となった「市松亀甲縞」は性別、年代に問わず好まれる傾向があり、モダンなデザイン、落ち着いた色調、伝統にこだわらない新しい感覚という点で評価されたようです。着用する側の視点から意見を聞く貴重な場となり、今後の製品開発に活かしていきたいと思います。



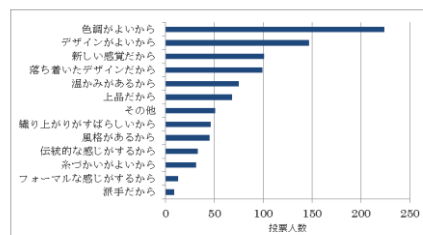
展示会場
(結城市民情報センター)



人気投票 No. 1



縞柄アップ



好まれる選択理由

基礎となった事業

平成 25 年度試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

紬技術部門

部 門 長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

本庄 恵美

主任研究員

中野 睦子

活動事例

産業界支援

笠間焼業務用食器研究会

支援先

笠間焼産地

【内 容】

小規模で作家型の笠間焼産地が生き残るため、業務用食器といった新たな販路を見つけ、参入のための基礎技術習得を行う“場”づくりの要望があり、同研究会の設立支援及び補助金申請支援を行いました。

1) 設立支援

業務用食器に関わるセミナーを7/12に開催し、参加者43名のアンケート調査より、16社の参加意思を確認の後、9/9に発足しました。

2) 補助金申請支援

財団法人広沢技術振興財団 学術研究等助成事業 知識普及助成事業に採択されました。

3) 新聞掲載

茨城新聞:8/4, 9/11, 11/26



図1 研究会風景

日本料理ブームによる日本らしい器の需要が拡がりつつあり、和食の無形文化遺産登録など期待感もあります。今後は、笠間焼の良さである「手作りでオリジナルな器、首都圏に近い優位性」を活かした支援を行います。

基礎となった事業

平成 25 年度 試験研究指導費（技術相談）

現在の担当部門

材料技術部門

所

長

鴨志田 武

TEL:0296-72-0316